

# いちのせき

## 商工会議所ニュース

Vol.595

2018

4

お買い物は  
地元商店で!!



### 活動方針決まる

## 第4回常議員会、第127回通常議員総会、 第5回優良会員表彰

▼第5回優良会員表彰  
(株)佐々木組、東磐運送(株)、  
(株)アークの3社が受賞。  
佐藤会頭から表彰状と記念品が授与されました。  
この表彰は、地域の環境  
対策に取り組んだ企業、  
雇用促進を通じ地域の  
産業振興に貢献した会員  
企業に贈られます。

▼第4回常議員会  
新入会員の承認、議員  
の職務を行う者の変更、  
建設部会長の承認、議員  
総会に提案すべき事項に  
ついて審議され、原案  
通り承認されました。

第4回常議員会、第  
127回通常議員総会が  
3月28日、千厩マリアー  
ジュにおいて開催され  
ました。  
冒頭の会頭挨拶では、  
「人材の育成に関しては  
特効薬はなく、地道に活  
動していかなければなら  
ない。市内の活動に関し  
てのアンテナを高くして  
連携することも必要だ」  
と述べられました。

▼第127回通常議員総会  
99名が出席(委任状含  
む)し、平成29年度補正  
予算、平成30年度事業計  
画、各会計予算等につい  
て審議され、原案通り承  
認、決定されました。  
事業計画については  
2、3面をご覧ください。  
今年度も、会員が丸  
となって多くの事業を  
展開してまいりました。  
特に、長年にわたるご  
尽力を賜り、創立70周年  
を迎えることができました。  
ご支援に感謝すると  
ともに、今後も新たな時  
代に即した事業を展開し  
てまいりますので、皆様  
方のご協力をお願い申  
上げます。

#### 目次

- 2-3 一関商工会議所事業計画
- 4-5 一関市への提言・要望〈市の回答〉
- 6 部会・委員会コーナー  
おもてなしセミナー、  
磐井川堤防 桜並木植樹祭
- 7 お知らせコーナー
- 8 新入会員の紹介、人事異動

# 商工会議所事業計画

東山地区：唐梅 Oh! 天気まつり、どんこ市他  
 室根地区：あきんどふれあい祭、商工バザール他  
 川崎地区：かわさき夜市、商工まつり他  
 藤沢地区：ふじさわ商工物産まつり、食べていかいんふ  
 じさわスタンプラリー他

- ⑥ 新地域カードシステム構築に係る調査研究（全体）
- ⑦ 地域商品券事業組合の事業の運営支援、ポイント（スタンプ）カード事業の運営支援  
 （商品券・ポイント：大東・千厩・東山・室根・藤沢）、  
 （ポイントのみ：一関・川崎）
- ⑧ 空き店舗入居支援事業の推進（全体）
- ⑨ 商業部会員の交流・連携推進
- ⑩ 全市連合大売出し事業の協議と実施（全体）
- ⑪ まちづくり会社への事業運営支援（一関・千厩）

## (2) 建設部会

- ① 国際リニアコライダー誘致実現に向けた取り組みの推進  
 ア、誘致実現に向けた市・県・国議員等との懇談会の実施
- ② 課題解決に向けた調査研究  
 ア、社会資本整備における調査研究  
 A、市内道路整備状況や災害時における迂回路について  
 B、観光を中心としたインフラ整備について  
 イ、資源・エネルギー循環型のまちづくりへ向けた調査研究  
 A、一関市バイオマス産業都市構想について  
 B、ゴミ焼却処分時の排熱利用並びに特殊産業廃棄物処理について  
 ウ、市の中心市街地活性化ゾーニング構想に係る調査研究  
 A、中心市街地の賑わい創出に向けた各種取り組みへの協力
- ③ 各種関連団体への支援・協力  
 ア、磐井川堤防改修促進協議会  
 イ、新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会
- ④ 行政に対する要望活動の実施  
 ア、一関市議会建設常任委員等との懇談会  
 イ、行政への要望活動の実施
- ⑤ 建設産業関連団体主催の研修会等への参加
- ⑥ 定例会及び親睦会の開催  
 ア、定例会の開催（9月、2月の22回）  
 A、一関市幹部との懇談会  
 イ、ゴルフコンペ等の親睦会の開催（春・秋の2回）

## (3) 工業部会

- ① 自社PRリレー開催と会員交流の推進
- ② 国際リニアコライダー誘致実現に向けた取り組みの推進
- ③ 農商工連携の推進と新たな産業創出に向けた調査研究  
 ア、事業所訪問による連携情報の提供  
 イ、教育機関、研究機関及び行政との懇談会など産学官連携の推進
- ④ 市内各工業クラブ等との連携強化のための情報交換会等の開催
- ⑤ 資源・エネルギー循環型のまちづくりへ向けた調査研究  
 ア、バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりについての調査研究  
 イ、地域のバイオマスを活用した産業創出について
- ⑥ 雇用、労働、人材に関する情報収集とインターネットを活用した情報提供
- ⑦ その他工業振興に関する事業

## (4) 観光部会

- ① 一関市・平泉町観光地域づくり日本版DMOへの協力・支援
- ② 訪日外国人観光客への対応に向けた調査研究

- ③ 観光客集客事業への協力、支援  
 ア、平泉の世界文化遺産登録7周年を活かした観光振興イ、「平泉ナンバー」「平泉の日」の普及促進とその活用に向けた取り組み  
 ウ、全国地ビールフェスティバル（8月）、一関・平泉バルーンフェスティバル（10月）、一関ご当地もちサミット（10月）への協力・支援  
 エ、伊達な広域観光推進協議会への参加  
 オ、ハーブフェスティバルへの協力・支援
- ④ 各地域での夏まつり及びイベント事業への協力・支援  
 ア、一関地域：一関夏まつり、いす1-GP、一関はしご酒、新春一関大餅つき大会他  
 イ、花泉地域：花泉夏まつり、花泉出前餅つき隊他  
 ウ、大東地域：一関市大東大原水かけ祭り、摺沢水晶あんどん祭り他  
 エ、千厩地域：千厩夏まつり、せんまやひなまつり他  
 オ、東山地域：唐梅館絵巻、げいひ賑わい祭り他  
 カ、室根地域：室根山山開き、むろね夏まつり他  
 キ、川崎地域：かわさき夏まつり花火大会他  
 ク、藤沢地域：藤沢野焼祭、館ヶ森収穫祭・館ヶ森風まつり他
- ⑤ 地域資源を活用した観光開発に向けた視察研修及びセミナー
- ⑥ 行政との懇談会の開催
- ⑦ 物産と観光展への協力・支援
- ⑧ その他観光振興に関する事業

## (5) サービス部会

- ① 部会員事業所相互の情報交換会等の実施  
 ア、部会員事業所の視察を実施し独自のサービス・経営理念について学ぶ  
 イ、部会員相互の情報交換会並びに親睦会の開催
- ② 地域資源の視察研修の実施（7月）  
 ア、管内の視察研修を実施し、地域資源や自然・歴史を学ぶ
- ③ 講習会・講演会の開催  
 ア、「健康管理」に関すること（11月）  
 イ、「経営、接客、接客」に関すること（2月）
- ④ 一関市・平泉町観光地域づくり日本版DMOへの協力・支援
- ⑤ 訪日外国人観光客への対応に向けた調査研究
- ⑥ **人材・人員不足に関する調査研究（新）**

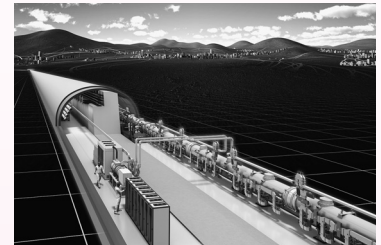
## (6) 金融理財部会

- ① 講演会の開催  
 ア、消費税軽減税率対策セミナーの開催
- ② 事業承継に関する個別支援
- ③ JA等と連携した6次産業化の調査研究
- ④ 地方創生としてのまち・ひと・しごとへの支援  
 ア、創業支援  
 イ、観光振興支援  
**ウ、空き店舗・空き家の活用・対策支援（新）**
- ⑤ 消費税率引上げに伴う消費税軽減税率対策に資する経営力強化支援
- ⑥ 一関市共通ポイントな花カード事業への支援・協力
- ⑦ 市及び県の融資制度の普及と活用促進
- ⑧ 県信用保証協会制度の普及と活用促進
- ⑨ 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）制度の普及と活用促進
- ⑩ 経営安定特別相談室の運営に対する支援・協力
- ⑪ 中小企業PL保険制度並びに休業補償プランの普及と加入促進
- ⑫ 個人情報漏えい賠償責任保険制度の普及と加入促進
- ⑬ 一関商工会議所メンバーズローンの普及と活用促進

# 平成30年度 一関

## I 重点事業

- 総合経済団体としての役割
  - 中東北の中核都市を標榜する一関市の総合経済団体として、国、県及び市が取り組むべき施策への積極的な提言
  - 国際リニアコライダー誘致に向けた取り組みの推進
  - 海外との経済交流の推進
  - 中東北の経済団体とのネットワークの構築
- 後継者、人材、人員の確保と育成
  - 後継者の確保と育成
    - 事業承継相談窓口の運営
    - 後継者の確保と育成事業の実施
  - 人材の確保と育成
    - ものづくり人材の育成と確保事業の実施
    - ジョブカフェ一関と連携した雇用確保対策事業の実施
    - 国との人的交流を通じた企画・立案能力の向上対策事業
  - 人員の確保育成
    - 移住・定住対策の推進（新）
    - 海外からの人員確保対策の支援（新）
- 労働環境の整備
  - 働き方改革に関する調査研究（新）
- 地域づくり活動の推進（商工業の改善発達と福祉の増進）
  - 商工業の振興
    - 中心市街地活性化の推進
    - 地域商店街の賑わい創出に向けた取り組みの強化
    - 消費税引上げに伴う対策の実施
    - 小規模事業者の経営改善の推進
    - 地産外商活動の推進
    - 地元企業への支援対策
  - 観光の振興
    - 一関市・平泉町の定住自立圏を核とした中東北圏域における日本版DMOによる地域づくり事業への取り組み支援
    - 平泉の世界遺産を核とし地域資源を活かした観光振興
    - 平泉ナンバー及び平泉の日の普及促進とその活用に向けた取り組みの強化
    - インバウンド誘致に向けた取り組みの強化
    - 「一関市の新たな踊り創作」に向けた取り組みの推進（新）
  - 産業間の連携による産業振興
    - 農商工連携による事業の創出に向けた取り組みの強化
    - 新事業創出に向けた6次産業化の推進
    - 歴史的遺産を活かした地域ブランドの調査研究
    - いわて南牛やもち食等地域資源を活かしたブランド化の推進
- 資源・エネルギー循環型のまちづくりへ向けた調査研究



国際リニアコライダー



人材の確保育成



地域資源を活かしたブランド化

## II 項目別事業

- 組織強化事業
  - 組織強化及び財政基盤の確立
    - 会員の増強運動
    - 各種共済制度の加入促進
    - ネットde記帳の推進
    - 労働保険事務組合への加入促進
  - 会議等の開催
    - 正副会頭会議・常議員会・議員総会の開催
    - 正副会頭と地域運営協議会長懇談会の開催
    - 役員・議員懇談会の開催
    - 部会・委員会の開催
    - 地域運営協議会の開催
    - 会員交流会の開催
    - 行政との懇談会の開催
- 部会事業
  - 商業部会
    - 中心市街地活性化の推進及び地域にある商店街の賑わいの創出に向けた取り組みの強化（全体）
      - 千厩駅前賑わいづくり事業（トヨタ財団助成事業）の推進（新）
  - イ、いちのせき賑わい「ど市」の魅力向上への取り組み推進（新）
  - ウ、千厩まちば再生支援事業の推進
  - エ、「歴史の小路」等中心市街地の魅力向上への取り組みの推進
  - オ、顕彰碑修繕等の環境整備事業の推進
  - カ、一関地方産業まつり商工祭の街なか開催に向けた協力・支援
    - 中心市街地活性化基本計画策定に向けた調査研究（一関）「まちば公園」具現化に向けた取り組み
    - 行政との懇談会の開催
    - 商店街活性化のための先進地視察や経営力強化のためのセミナー等の実施
    - 地域の特性を活かした事業への協力・支援

- 一関地区：飲食、買い物スタンプラリー（一関はしご酒）、いちのせき賑わい「ど市」、いちのせき商業まつり、まちなか懇談会 他
- 花泉地区：春・秋の互市、ふれあい商店街づくりイベント他
- 大東地区：大東グルメ祭り、元気市、賑わい市、砂鉄川川床まつり他
- 千厩地区：まちなか教室、千厩夜市、農商工まつり、連合売出し他

# 一関市への提言・要望 一関市の回答①

12月26日に提出した提言・要望についての回答がありました。

詳細は以下のとおり。

## 1 人材・人員不足の克服と後継者の確保について

(1) 人材・人員不足の克服について  
少子化、高齢化、若年者の人口流出等による人材・人員の不足は全国的な課題として深刻化しており、中小企業においても重要な課題となっている。

日本商工会議所の分析によれば、全国的にもおよそ6割の企業が人手不足を訴え、この先もますます深刻化することが現実の状況だとされていることから、同所では「人手不足の克服」を重点課題と位置づけ、今後、必要な施策を政府の各種会議に要請する予定としている。

当市においてもこの課題は顕著に表れてきており、本年7月に行った「事業承継に関するアンケート」の結果においても、「人材育成・採用」に関する課題が売上向上に次ぐ大きな課題となっている。当市における人材・人員の不足を克服するためには、新規高卒者の地元就職率の向上策はもとより、UIJターンがしやすい環境づくり、女性・高齢者・外国人など、多様な人材が活躍できる働く

場の確保など総合的な基盤の整備が求められていることから、貴市と協調しながら人材・人員の確保のための支援事業に取り組んでいきたいと考えている。  
貴市の積極的かつ主体的な施策展開を期待するものである。

**回答**…地元企業への理解を図り、地元就職を促進するために、前年度新たに企業の魅力を発信する取組として、「地域企業魅力発見事業」を実施したほか、ハローワーク等の関係機関と連携し、高校1、2年生を対象とした企業説明会「未来さがしプロジェクト」や、高校3年生や就職担当教諭と企業との情報交換会を開催しております。

また、大学や一関高専等と連携し、企業見学ツアーやインターンシップ受入などに関する地元企業と大学等関係との情報交換会を開催しております。そのほか、宮城県栗原市、登米市や平泉町などと連携して、「中東北就職ガイダンス」及び「地域企業情報ガイダンス」を開催しているほか、「中東北専門技術人材確保支援事業」に取り組み、UIJターン就職希望者を含めた学生や一般求職者の地元就職と企業の人材確保を支援しております。

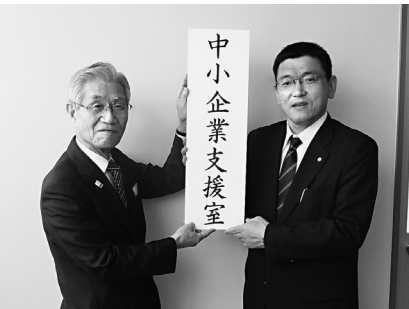
今後とも、貴所をはじめ、ハローワーク等の関係機関と連携し、UIJターン者や若者の地元就職・定着の促進に努めるとともに、多様な人材が活躍できる労働環境の整備を支援してまいります。  
(担当…労働政策課)

(2) 後継者の確保について  
少子化や厳しい経営環境により、全国の中小企業では後継者不

足が大きな課題となっている。そこで、本年、全国の商工会議所が総力を挙げて、後継者の確保（事業承継）について政府・与党へ働きかけた結果、平成30年度法制改正において、商工会議所の意見が多く盛り込まれた形で、事業承継税制の抜本拡充が実現したところである。

当地域においても、長年、事業を継続してきた会員企業が後継者不在のため廃業を余儀なくされるなど、新規開業より廃業の方が多い状況が続いていることから、当所では、事業承継の円滑化を図るため、市当局のご支援のもと、全国でいち早く事業承継の対策を担う部署を設置し、市内金融機関と連携しながら本格的に会員への支援を開始したところである。

スタートに当たっての事業としては、的確な現状認識をするため市内の全事業所に対してアンケート調査を実施したところであり、今後は、詳細の分析と共に相談の希望のあった事業所への訪問活動を展開することとしている。  
貴市においては、引き続き積極的な参加を期待するものである。



中小企業支援室設置

**回答**…一関商工会議所におかれましては、事業承継にかかる後継者確保対策の一環として、中小企業支援室を設置されており、市では、その費用の一部を助成しているところであります。  
市としては、一関商工会議所とともに、事業承継を進める上での課題の把握を行い、必要な対策を検討してまいりたいと考えております。  
(担当…商業観光課)

## 2 中心市街地活性化「まちは公園、みんなでつくる100年のまちづくり」について

当所では、これまで、「二ノ関駅前周辺整備に関する提言書」や「まちは公園（平成21年3月）」や「一関市街地のまちづくりに関する提言書」「まちは公園（平成23年7月）」により中心市街地活性化に向けた提言をしてきたところである。

今後は、賑わいと活力ある中東北の拠点として、また、高齢者や子供に優しく「安心」「安全」「ゆとり」などが体感できる中心市街地の活性化を進めていくことが必要であることから、各項目に対して早急な対策を講じられたい。

(1) 中心市街地活性化推進事業の推進について

まちづくりについては、当所からの「まちは公園」の提言書や貴市が策定した「一関地域中心市街地グリーニング構想」があるが、実効性のあるまちづくりを目指し、将来の一関中心市街地を地域住民に具体的に見える形にする必要がある。専門家を交えながらグラン

ドデザインを描くための本調査事業に着手されたい。

**回答**…一関の中心市街地を統一するデザインイメージとして市民共通の認識に至るまでに形づくられたものは現時点ではないことから、今後のI・L・C誘致の動向等も踏まえて検討していく必要があると考えております。  
(担当…政策企画課)

(2) 中心市街地内にある歴史的顕彰碑の移転・修繕について

中心市街地にある石碑・案内板や旧町名の復活など歴史探訪を目的とした環境整備を進めるとともに、市民の先人への敬意と思いやり、遠来の観光客へのおもてなし、散策しながら楽しみ「歩きたくなるまち」にするためにも、歴史的顕彰碑の修繕や補強を実施する必要がある。

**回答**…中心市街地の顕彰碑等の点検確認を各部署に指示し、修繕が必要なものについては、修繕方法等の検討を進めます。

案内板等の新設や移転は、文化財標柱・解説板整備事業等により、具体的な歴史テーマを用いて案内板を整備する場合は、元気な地域づくり事業「誰もが文化財を探访できるまちプロジェクト」での協働による取組が検討されますのでご相談ください。  
(担当…文化財課)

(3) 空き店舗を活用した資料館・物産館の設置について

色川武大や井上ひさしなど一関市に縁のある著名人が残した資料については、中心市街地に点在す

る空き店舗や空き家を資料館として活用することにより、多くの観光客が中心市街地を回遊し、街なか滞在時間の延長が図られる。  
また、7(1)に掲げた6次産業化と農商工連携による活動の結果として誕生した当市のオリジナル商品を展示販売する物産館として活用することも重要である。

**回答**…空き店舗を活用することは、店舗の改修費用や家賃の負担、施設の運営や管理などの長期にわたっての課題もあり、今後、十分な検討が必要と考えております。  
(担当…商業観光課)

(4) 中心市街地内にある空間・建物を活用した街なかイベントの実施について  
一 関地方産業まつり「商工祭」については、昨年から街なかで復活開催されたところである。  
今後とも、多くの市民が街なかを回遊することにより、中心市街地の賑わい創出につながるよう、各種まつりやイベントについては、実施されるよう努められたい。

**回答**…一関商工会議所や地元商店街の皆様の見解を伺いながら、イベント等の趣旨や性格を考慮し、イベント毎に街なか開催の可否を考えていきます。  
(担当…商業観光課)

### 3 国際リニアコライダーの誘致について

(1) 国際リニアコライダーの誘致実現について  
建設実現に向けて市民の意識醸

成や受け入れ態勢の充実を図ると共に、県や関係団体と連携しながらI-LC誘致に向け、引き続き国に対し積極的な要望活動を展開されたい。

また、効果的な誘致活動を展開するためにも、総合的なグラウンドデザインを定めI-LC誘致実現後を見据えて、統一した考え方に基づくまちづくり活動を推進することが有効であると考え、ことから、貴市のまちづくりにリンクしたI-LCを活用するグラウンドデザインの策定について着手されたい。

なお、この策定作業に当たっては、当所としても貴市と共に検討する意思があることを申し添える。

**回答**…市では、I-LCを基軸としたまちづくりを掲げており、I-LCを見据えたまちづくりについて、岩手県等の関係自治体、東北I-LC準備室などとともに、広域的な視点に立って検討を進めております。

これまで、I-LCを所管する文部科学大臣が来訪した際の現地説明、東北出身の国会議員、超党派の国会議員で組織されるリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟に加入している議員を訪問するなどして、働きかけを行ってまいりました。

また、安倍内閣総理大臣には、当市来訪時に、I-LC誘致に向けた現地の取組の状況などを説明し、地域の熱意を伝えております。

さらには、東北市長会において、I-LC誘致実現に関する特別決議を提案するなど、実現に向けた働きかけや、関係自治体、関係団体と連携した要望活動を実施しております。

引き続き、研究者などが実施するI-LCの建設に向けた各種調査に協力していくとともに、関係機関と連携して、日本誘致に関する方針の早期決定を政府に働きかけたいです。

なお、グラウンドデザインについては、今後、東北I-LC推進協議会が具体的なプランを示すものと認識しており、東北全体や県全体のプランとの調整を図りながら検討を進めるべきと捉えております。  
(担当…I-LC推進課)

(2) 沿岸と内陸を結ぶ「新笹ノ田トンネル」の早期実現について  
「復興支援道路」に位置づけられ、沿岸と内陸を結ぶ重要路線でもある国道343号は、陸前高田市と一関市の境にある笹ノ田峠が交通の難所となっている。  
特に、冬期間は、路面の凍結等により安全な通行に支障をきたしていることに加え、I-LC誘致実現の折には、機材の運搬に支障が生ずることから、新トンネルの整備により安全・安心な交通の確保ができるよう、「新笹ノ田トンネル」の早期事業化に向け国・県へ働きかけられたい。

**回答**…当市と陸前高田市を結ぶ国道343号の笹ノ田峠は、交通の難所であり、冬期間は路面の凍結等により交通に支障をきたし、安心して通行できる道路の整備が強く望まれております。

交通の難所解消のためには、「新笹ノ田トンネル」の実現が極めて有効であると認識しており、平成26年に新笹ノ田トンネルの実現のため寄せられた9万人を超える署名の重みを汲み、関係市町で構成

する「国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会」や、関係市町・団体で構成する「新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会」などと連携し、その実現に向け、国・県に対して強力に要望してまいります。  
(担当…道路建設課)

### 4 ふるさと納税を活用した特産品のPRについて

ふるさと納税への協力者に対するお礼として「特産品」をお贈りする手法が多くの自治体で採用され、多額な納税額の確保や特産品販売額の向上とPR効果の拡大など、大きな実績を上げています。反面、過熱している自治体も多い。反面、過熱している取り組みに対しては、その是非も含めてマスコミでも大きく取り上げられている状況にもある。

この様な中ではあるが、この制度に積極的に取り組むことは、一関市の魅力を全国にアピールすることができるとともに、地域経済の活性化や雇用創出など、税収増のみならず産業の振興にも大きく貢献するものであると考えられることから、ふるさと納税の寄附者の声を聴きながら、節度を保ちつつ総合的な視点をもって、当市においてもこの制度の充実に努められたい。具体的な活用事例としては、前項で述べた「I-LCを活用するグラウンドデザインの策定」のための費用にその一部を充てる方法もあると考える。

なお、「お贈りする特産品」の選定にあたっては、当所会員企業の商品とされるときも、発送業務については、当所において受託する準備があることを申し添える。

**回答**…ふるさと納税の返礼品は、市内各地域の特色ある物産品等により当市のPRにつながるよう、また、寄附される方ができるだけでなく、多くの種類の返礼品の中から選んでいただけるよう、本年度は30種類を準備しました。

ふるさと納税により寄せられた寄附金を財源とする事業についても、より多くの方に当市の魅力を感じていただけるよう、いただいたご意見を参考に、工夫してまいります。

なお、制度の充実と併せて外部への一部業務委託についても、今後検討してまいります。  
(担当…いきがいつくり課)

～5月号へ続く～

### 常議員に選任されました

	事業所名	役職名	氏名
1	(株)佐々木組	代表取締役社長	佐々木一徳氏
2	東日本旅客鉄道一関駅	駅長	角谷公博氏

## 部会・委員会コーナー

### ■金融理財部会

2月26日、本所において金融理財部会が開催されました。部会では29年度のメイン事業として開催した事業承継セミナー等の報告と、30年度の事業として消費税軽減税率制度の概要、必要となる対応に向けたセミナーの開催ほか12項目についての支援・協力していくことが決定されました。

### ■工業部会

2月26日、本所において、工業部会が開催されました。部会では29年度の事業実施報告に続き、30年度の事業計画について協議され、全7項目を軸とすることを決定いたしました。

講話では、(公財)岩手県南技術研究センターの小田島次勝氏より当センターで研究されている内容を紹介いただき、出席者は熱心に聞き入っていました。

### ■観光部会

2月28日に一関市立図書館学習室において、観光部会を開催し(写真)14人が出席。30年度事業計画等について話し合いました。冒頭の挨拶で

佐々木賢治部会長(げいび観光センター)は、「観光に携わる者として、商工業の発展のため

にどのような支援をしていけるのか考えていきたい。」とお話しされました。協議内容については、ハーブフェスティバルへの協力支援が引き続き行われる他、地域資源の活用に関して活発な意見交換がなされました。



### ■サービスマ部会

2月28日に一関文化センターにおいてサービスマ部会を開催し、30年度の事業計画について協議されました。

地域視察研修や講演会の内容に関して、「千厩にはイベントがたくさんあるので、まちおこしへの取り組み、リーダーシップの取り方について、イベントの中心人物を講師として呼びびして勉強したい」「おもてなしはもちろん、クレーム対応について勉強するのはどうか」などの意見が出されました。

また、人材や雇用について現状を共有したところから、

新たに「人材・人員不足に關する調査研究」が追加され、事業計画が決定されました。

### ■建設部会

2月28日、ホテルサンルート一関において建設部会を開催しました。

29年度の事業報告に続き、欠員に伴う部会長の選任について協議され、(株)平野組代表取締役の須田光宏氏が部会長に選任されました。また、30年度の事業計画について協議の結果「国際ニアコライダー誘致実現に向けた取り組みの推進」をはじめとする、全5項目を軸とした活動を進めることが決定されました。

部会終了後、一関市農林部政策推進監の梁田潤氏を講師に迎え、「バイオマス産業都市構想」についての研修会(写真)を行いました。地方創生推進交付金の対象事業でもある、一関市の「資源・エネルギー循環型社会形成支援事業」への携わりや、10万立米に及ぶ放置間伐材の有効利用、



市民参加型活動の取り組み、「EBCクレジットの説明等」についてご講演いただき、参加者は熱心に聞き入っていました。

各部会で決定された平成30年度事業計画は、2・3面に掲載しております。

### おもてなしセミナー

2月28日、一関市、(一社)一関市観光協会、当所観光部会、サービスマ部会が合同で「観光おもてなし向上セミナー」を開催し26人が参加しました。講師には、いわて観光おもてなしマイスターでもある、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングフロント係の佐藤優氏をお迎えしました。

好感のある第一印象を常に提供するためには、『アイコンタクト』『フア』の音域から出る明るい挨拶、『スマイルティース』が見える笑顔』の3点セットが重要など、すぐにでも実践できる取り組みをご享受いただきました。

「今回の内容を自社に持ち帰り勉強したいがなかなか時

間がとれない」という参加者からの質問に、佐藤氏は「朝礼中の5分でも良いので少しずつ取り組んでみてください」と話されました。



### 磐井川堤防桜並木植樹祭

3月28日、磐井川堤防改修に伴う桜並木の復元を考える会(会長小野寺真利一関商工会議所副会頭)は、改修工事を終えた磐井川堤防左岸青葉地区で桜植樹祭を開きました。

はじめに、小野寺会長から「桜は植樹が目的ではなく、桜一本一本が市民一人ひとりと大きく成長し、それぞれの歴史を刻むことが大事。年間を通じて成長を楽しんでほしい」とあいさつ。

それに続いて伐採前の遺子を受け継ぐ苗木14本を植えたほか、1～6年の小学生がタイムカプセルを埋設。訪れた約400人の参加者は新たな桜並木に思いをはせました。

## せんまや夜市 開催!

今年度1回目となります、せんまや夜市が4月14日(土)に開催されます。

市内消防団による纏振りをはじめ、楽しいステージイベントや商店街には屋台が多数出店などせんまやの夜を盛り上げます。また、今年度の夜市の開催日程等は以下のとおりです。皆様のお越しをお待ちしております。

開催日 4月14日(土)  
5月12日(土)  
6月9日(土)  
7月14日(土)  
8月14日(火)  
9月8日(土)  
10月13日(土)  
開催時間 18:00~21:00  
場所 千厩町商店街



昨年の燈立の様子(8月)

## 岩手県事業引継ぎ支援センター 定期移動相談会

後継者不在などで、事業の存続の悩みを抱える中小企業・小規模事業者の方の相談会を、一関で開催いたします。

日時 4月17日(火)・6月19日(火)・8月21日(火)  
11:00~15:00  
場所 一関商工会議所本所

## 中小企業の皆さまへ

**無料で 専門家を派遣します!!**

経営上の悩みの相談、課題の解決に、専門家のアドバイスを聞いてみませんか。

当協会では、ご要望に応じて専門的知識と経験を有する専門家を派遣し、目標の実現や経営上抱える各種課題の解決を支援する事業を実施しています。

◆ 費用は当協会が**全額負担**します ◆

このようなご相談に対応しています

- ★ 売上を伸ばしたい
- ★ 営業戦略についてアドバイスが欲しい
- ★ 創業計画や経営計画を作りたい

## 岩手県信用保証協会

信用保証協会に、直接ご相談ください!!

【一関支所】一関市大町 7-14  
TEL 0191(23)2533

### 岩手県信用保証協会一関支所が移転しました

岩手県信用保証協会一関支所は、平成30年3月5日より新たな事務所で営業を開始いたしました。

移転後の住所、連絡先は下記のとおりです。

新事務所は、駐車場も広くなり、小規模な会議も開催できる部屋も完備していますので、お気軽にご利用ください。

法改正により平成30年4月から経営支援が保証協会の業務として正式に追加されることもあり、新事務所ではこれまで以上に地域中小企業の皆さまのお役に立てるよう前向きに業務にあたっていきますので、引き続きよろしく願いたします。

記

1. 住所 <移転前> 〒021-0883 一関市新大町 132 番  
<移転後> 〒021-0881 一関市大町 7 番 14 号
2. 電話番号 0191-23-2533 (変更なし)
3. FAX番号 0191-23-2530 (変更なし)

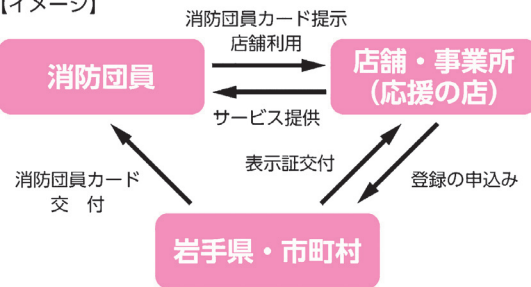
## いわて消防団応援の店 登録店舗募集!!

出典：岩手県総務部総合防災室

【イメージ】



わんこぎょうたい・そぼっち



### サービスの提供方法

○登録していただいた店舗を利用する際に岩手県内の消防団員の皆様が「消防団員カード」を提示いたしますので、サービスの提供をお願いいたします。

### 特典やサービスの例

○購入金額の□%割引  
○ドリンク1杯サービス  
○ポイント□倍  
○粗品贈呈 など  
※特典やサービスに必要な費用は、事業者様の御負担となります。

### 消防団応援の店表示証

○登録していただいた店舗には、「いわて消防団応援の店」表示証を配布いたしますので、店舗内の見やすい場所へ御掲示くださるようお願いいたします。

岩手県では、地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、岩手県内各地域の消防団を応援していく「いわて消防団応援の店登録事業」を実施しています。事業者の皆様は積極的な応募をお待ちしています。

※ 詳しい内容については、岩手県ホームページをご確認ください。

お問合せ 岩手県総合防災室防災消防担当 (019-629-5151)  
一関市消防本部総務課消防団係 (0191-25-5910)  
または一関市内各消防署・分署まで

# ご入会ありがとうございます 新入会員の皆さまです New Face!

事業所名	代表者名	事業所所在地	業種
水道機工(株)	角川政信	東京都世田谷区桜丘5-48-16	建設業
(株)水機テクノス	武藏昌弘	東京都世田谷区桜丘5-48-16	建設業
(有)南岩手環境	鈴木一彦	一関市東五代4-3	浄化槽維持管理業

(受付日順・敬称略)

## 紹介

### 異業種への転身

株式会社 ユーティーイー東山

精密プレス板金加工を得意とし、プレス金型設計製作・板金製品加工・アッセンブリ加工までの一貫生産体制のもと物流までを対応。次世代スーパーコンピュータ「京」の部品作製に携わった経験もある。  
代表取締役の千葉正和氏(写真)へインタビューしました。



— 現在に至るまで、少し変わった経歴があるとお伺いいたしました。  
前職では建設会社の現場監督を務めていましたが、経営者である父の強い薦めもあり異業種ですが転職を決意しました。はじめのころは現場に出ながら日々勉強でした。

— 前職の経験が活かしていると感じることありますか。  
まったく違う業界への転身なので、直接的な部分で関係はありませんが、労働安全衛生の意識や、監督者への届出関係など、自分ではあまり意識していませんでしたが、前職の現場・工程管理の経験が活かしているところもあると思います。

— 事業の承継はいつごろされたのですか。  
10年ほど前になります。父と一緒に仕事が出来たのはわずか1年という短い間で、事業の承継は突然のことでした。当時のことを思い出すと本当に大変でしたが、経営担当者、工場長の長年の助けがあつて今があると思います。

— どのような経営課題がありますか。  
10年前と変わらない社員数を維持してはいますが、やはり人手不足が大きな課題です。また、熟練者との技術差や経験の差はどうしても出てしまうので、日々の仕事に追われる中ではありますが、技術の伝承を行い平準化への改善を図っています。

— 会社の強みを教えてください。  
小さい会社ではありますが、プレス金型の設計製作から、プレス加工までの工程ができる点です。また、小ロット多品種の製品を扱うことが増えたり、昔よりも製造するパーツが大きくなったりと多様化するニーズの中でも、対応力はあると思います。

— 今後の展望をお聞かせ下さい。  
会社自体を大きくしたり、雇用を大幅に増やすという事よりも、契約先へ品質の確かな製品を届け、継続的に事業を進めていければいいと思います。

— 本日はお忙しいところありがとうございます。  
はい。

## 人事異動

● 局長級  
事務局長 長尾 敏一 (事務局長兼総務課長)

● 課長・支所長級

総務課長 小野寺 郁代 (川崎支所長補佐)  
業務課長 船山 賢治 (室根支所長)  
経営支援課長 千葉 拓夫 (東山支所長)  
花泉支所長 熊谷 恵 (経営支援課長補佐)  
大東支所長 加藤 麗子 (大東支所長補佐)  
東山支所長 菅原 義則 (経営支援課長)  
室根支所長 村上 友善 (大東支所長)  
千厩支所主幹 佐々木 淳 (千厩支所長補佐)

● 課長補佐級

東山支所長補佐 小野寺 志津恵 (東山支所係長兼総務課係長)  
兼総務課長補佐 鈴木 直子 (藤沢支所係長)  
経営支援課長補佐

● 主任級

藤沢支所主任 後藤 真理 (室根支所主任)  
大東支所主任 鈴木 亨 (大東支所主任)

● 主事級

経営支援課主事 金野 剛士 (総務課主事)  
大東支所主事 小野寺 直人 (千厩支所主事)  
室根支所主事 千葉 絵梨香 (総務課主事)  
川崎支所主事 山本 雄麻 (経営支援課主事)  
総務課主事 菅原 優 (新採用)  
業務課主事 菅原 彩佳 (新採用)  
経営支援課主事 小野寺 麻希 (新採用)  
千厩支所主事 千田 悠人 (新採用)

● 嘱託職員

川崎支所長 佐藤 高広 (理事兼川崎支所長)

● 退職

高橋 宏之 (常務理事)  
佐藤 高広 (理事兼川崎支所長)  
佐藤 裕一 (業務課長)  
佐々木 亨 (花泉支所長)

注( )内は前職